別表第二十九号　各表示モード及び欧文横書の書式における文字及び図形の表示並びに符号化の制限

項目	制限の内容
1　全面固定表示モード	ヘッダ文表示領域においては、文字（モザイク図形表示及びＤＲＣＳ図形表示の図形を含む。以下別表において同じ。）に関する符号化のみを行い、次の制御機能は使用しないものとする。 Ｃ０制御符号　ＡＰＤ、ＡＰＵ、ＡＰＲ、ＡＰＳ Ｃ１制御符号　ＳＺＸ　06／０、ＳＺＸ　04／１、ＳＺＸ　04／５、ＳＺＸ　06／４、ＳＺＸ　06／11
2　スーパー固定表示モード	⑴　使用できる文字の書式は、標準密度の横書、標準密度の縦書及び欧文横書の書式のみとする。 ⑵　表示区画の着色指定が背景色半輝度白の場合、背景となる部分へテレビジョン画像を、信号のレベルを低下させて表示するものとする（シャドー表示）。 ⑶　ヘッダ文表示領域における制御機能の制限は、全面固定表示モードと同一とする。
3　字幕表示モード	スーパー固定表示モードの制限と同一とする。
4　一行横スクロール表示モード	⑴　使用できる文字の書式は、標準密度の横書のみとし、最初の文字から表示領域の右端より表示する。データの最後の文字が表示領域内に表示された時、スクロールは停止するものとする。 ⑵　番組形態は一括形番組とする。 ⑶　表示区画の着色指定が背景色半輝度白の場合、背景となる部分へテレビジョン画像を信号のレベルを低下させて表示するものとする（シャドー表示）。 ⑷　ヘッダ文表示領域は、使用しないものとする。 ⑸　次の制御機能は使用しないものとする。 Ｃ０制御符号　ＡＰＢ、ＡＰＦ、ＡＰＤ、ＡＰＵ、ＡＰＲ、ＰＡＰＦ、ＣＡＮ、ＡＰＳ Ｃ１制御符号　ＳＺＸ　06／０、ＳＺＸ　04／１、ＳＺＸ　04／５、ＳＺＸ　06／４、ＳＺＸ　06／11、ＦＬＣ、ＣＤＣ、ＭＣＳ、ＭＣＴ、ＳＷＦ、ＣＣＣ、ＷＭＭ ⑹　着色指定は、最初の文字符号又はＣＳの後の最初の文字符号に先立って行うこととする。
5　全面縦スクロール表示モード	⑴　使用できる文字の書式は標準密度の横書のみとする。 ⑵　文字の表示においては、ヘッダ文及び本文表示領域へ全面固定表示を行った後、動作位置が本文表示領域の下端を越えることとなる場合は、動作位置を仮想書込領域へ移動して表示データを書き込む。フォトグラフィック図形の表示においては、走査方向符号が「１」で縦方向座標が「０」を指定した場合に仮想書込領域へ表示データを書込む。 動作位置がさらに仮想書込領域の下端を越えることとなる場合又はフォトグラフィック図形の仮想書込領域への書込みが終了した場合は、復号を中断して本文表示領域の文字及び図形を標準の表示区画の縦幅分又は論理画素の24倍分上方へスクロールする。スクロールの完了後、復号を再開して、再び仮想書込領域に表示データを書き込み、スクロールを繰り返す。ページデータを最後まで復号した場合は、動作位置が仮想書込領域内にあっても標準の表示区画の縦幅分上方へスクロールし停止する。 ⑶　番組形態は一括形番組とする。 ⑷　別表第八号に示すスーパーが「１」で、表示区画の着色指定が背景色半輝度白の場合、背景となる部分へテレビジョン画像を信号のレベルを低下させて表示するものとする（シャドー表示）。 ⑸　ヘッダ文表示領域における制御機能の符号化は、全面固定表示モードと同一とする。 ⑹　文字の符号化におけるＡＰＦ、ＡＰＲ、ＡＰＤ、ＰＡＰＦ及びＡＰＳにより動作位置が本文表示領域の下端を越えることとなる場合の規定は、全面縦スクロールの本文表示領域においては適用しないものとする。 ⑺　仮想書込領域に書き込む場合は、文字及びフォトグラフィック図形に関する符号化を行うものとし、その場合の制限は、次のとおりとする。

制限を受ける符号等		制限事項
ＡＰＢ、ＡＰＦ、ＡＰＤ、ＡＰＵ、ＡＰＲ　ＰＡＰＦ		仮想書込領域内で使用可能 本文表示領域へ動作位置を戻すことは不可能
ＡＰＳ、ＳＺＸ　06／０、ＳＺＸ　04／１、ＳＺＸ　04／５、ＳＺＸ　06／４、ＳＺＸ　06／11、ＣＤＣ、ＷＭＭ、ＳＷＦ		使用不可能
一層及び多層フォトグラフィック図形表示	縦方向フィールドサイズ	論理画素の大きさの24倍の整数倍
	横方向フィールドサイズ	全表示領域のみ
	横方向ユニットサイズ	全表示領域のみ
	縦方向座標及び横方向座標	両方とも「０」
	走査方向	「１」

6　欧文横書の書式	⑴　使用できる外字符号集合は、ＤＲＣＳ－１とする。 ⑵　次の制御機能は、使用しないものとする。 Ｃ１　制御符号　ＳＳＺ、ＭＳＺ、ＳＺＸ　06／０、ＳＺＸ　06／11、ＳＺＸ　06／４、ＭＣＳ、ＭＣＴ

別表第三十号　データヘッダ、データユニット及び制御符号と初期化動作項目との関係

データヘッダ／データユニット及び符号 ＼ 初期化動作項目			1 表示画面	2 付加音再生	3 受信側選択	4 定義データ	5 宣言データ	6 符号の指示・呼出し	7 動作の指示	8 状態の指定
データヘッダ	番組データヘッダ（一括形）		○	○	○	○	○			
	ページデータヘッダ	新番組番号（非一括形）	○	○	○(1)	○	○			
		継続番組番号	○(2)	○(2)	○(1)		○			